

令和 6年度予算見積調書

課室名: 高校教育指導課

担当名: 教育課程担当

内線: 7392

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P22	県立高校学際的な学び推進事業「学・SAITAMAプロジェクト」			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	教育課程推進費		
事業期間	令和 5年度～ 令和 7年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール		
					分野施策	0504 質の高い学校教育の推進	SDGsターゲット			
1 事業概要 融合的な観点で物事をとらえ、課題とその解決策を提案できる人材を育成するために、探究活動及び教科等横断的な学びに関する教育の充実を図る。 教科等横断型の教育課程の検討・実践 15,990千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 教科等横断的な教育課程の研究 イ 学際教育や探究活動をコーディネートできる教員の育成 ウ 研修会や講演会を通して、高校生の多角的視点の育成を図り、学際的な学びの資質を育成する。 (2) 事業計画 ア 学際教育モデル研究校において、教科等横断型の教育課程の検討・実践する。 イ 学際教育モデル研究校において、研究者による講演会や研究施設での研修を行う。 ウ 県立高校教員向けに探究活動コーディネートや学際的な学びに関する研修を実施する。 エ 県立高校生向けに課題設定や学際的な学びに関する研修を実施する。 (3) 事業効果 ア 高校生が、困難な課題に自ら答えを見出ししていく思考力・判断力・表現力等の資質・能力を育み、新たなイノベーションを創造しうる人材となる。 イ 学際的な学びを豊かにする、教科間連携のための持続的な教員ネットワークが形成される。 【活動指標(アウトプット)】 ・研究機関、大学等での学際的、専門的見地を高める生徒研修会実施(12校) ・学際コーディネーター研修会の実施(12校) 【成果指標(アウトカム)】 ・新たなイノベーションを創造したり地域の課題を解決しうる、困難な課題に自ら答えを見いだしていく思考力・判断力・表現力等の資質・能力が備わった人材となる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ア 大学・研究所などの研究機関・研究者と連携し、探究的課題研究の充実を図る。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
決定額	15,990							15,990	△2,160	
前年額	18,150							18,150		

事業内訳書

事業名	県立高校学際的な学び推進事業「学・SAITAMAプロジェクト」		
単位事業名	教科横断型の教育課程の検討・実践	予算額	15,990千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	15,990	△2,160	
合計	15,990	△2,160	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	5,890	△650	モデル校の探究的な学びに係る講師謝金 6人×4回×12校 先端研究施設における研修会に係る講師謝金 2人×2回×12校 教育研修(オンライン研修)講師謝金 1人×1回×5講座 生徒向け研修(オンライン研修)講師謝金 1人×3回×5講座 生徒発表会講師謝金 5人×2回
旅費	1,200	△360	発表会生徒引率教員旅費 5人×2回×12校 先進校視察教員旅費 3人×2回×12校
需用費	4,300	△450	教科等横断的課題研究に係る学習環境の整備 12校 発表会 2回
委託料	4,500	△600	学際研究生徒研修会(モデル校主催) 1回×12校 学際研究生徒研修会(県主催) 1回×3分野

単位事業名	教科横断型の教育課程の検討・実践	予算額	15,990千円
-------	------------------	-----	----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	100	△100	発表会会場使用料 1回
合計	15,990	△2,160	